

# 寝屋川流域 大規模水害タイムライン

(平成30年8月策定)



## 報道機関

NHK大阪放送局・毎日放送㈱  
朝日放送テレビ㈱・テレビ大阪㈱  
関西テレビ放送㈱・讀賣テレビ放送㈱

## 警察

大阪府警察本部

## 気象庁

大阪管区气象台

## 鉄道機関

西日本旅客鉄道㈱・京阪電気鉄道㈱  
近畿日本鉄道㈱・大阪高速鉄道㈱  
大阪市高速電気軌道㈱

## ライフライン

西日本電信電話㈱  
大阪ガス㈱  
関西電力㈱

## 国土交通省

近畿地方整備局

## 流城市

大阪市・守口市・枚方市  
八尾市・寝屋川市・大東市  
柏原市・門真市・東大阪市  
四條畷市・交野市

## 大阪府

危機管理室・都市整備部

# 寝屋川流域大規模水害タイムライン

## 1. タイムラインとは？

災害の発生を前提として、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画です。事前防災行動計画とも言われています。

台風等によって災害の発生が見込まれる場合にタイムラインを運用することで、関係機関の円滑な連携が図られるとともに、先を見越した適時的確な防災対応を行うことができます。

## 2. タイムラインの概要

寝屋川流域はその大部分が低平地であり、流域の約3/4は雨水が自然に河川に流れ込まない「内水域」であることから、下水道により雨水を集めポンプで強制的に河川へ排水している地域です。

こうした厳しい地形状況の中、流域住民の暮らしを洪水から守るため、国、府、流域11市が協力して、寝屋川流域総合治水対策協議会を設立し、平成2年4月に「寝屋川流域整備計画」を策定し、新たな治水施設の建設や流域対策など、河川と下水道と流域が一体となった総合的な治水対策を進めてきました。

現在は、平成14年7月に策定した「淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画」に基づき、引続き治水対策を進めるとともに、環境対策にも取り組んでいます。

こうした取組みもあり、平成9年8月と平成23年8月に発生した同規模の降雨に対する浸水戸数を比較すると、施設整備等の効果もあり、浸水戸数が大きく減少しました。

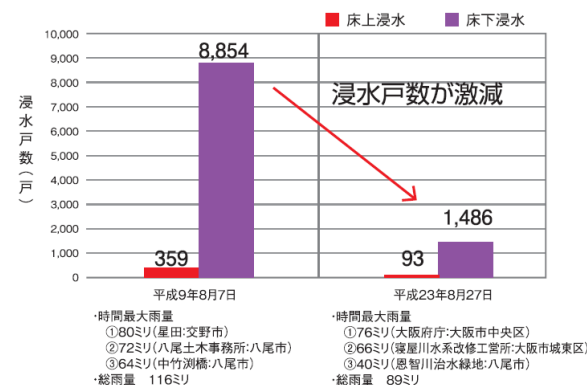
しかし、平成24年8月の局地的豪雨では、時間最大雨量111ミリ、総雨量159ミリといった、大きな降雨が発生し、流域全体で19,634戸の浸水、うち2,554戸が床上浸水と大きな被害が発生した事例も起こっています。

このような状況の中、施設整備などのハード対策だけではなく、災害対策基本法に基づき地域防災計画の策定と状況の変化に応じた見直し作業、浸水想定リスク図の公表やハザードマップの策定、各自治体による避難判断マニュアルの作成、河川管理者等と流域市をつなぐホットラインの構築など、洪水や内水浸水から流域住民の命を守るため、様々なソフト施策に取り組んできました。

一方、近年全国で頻発する豪雨によって発生した、逃げ遅れによる犠牲や孤立といった被害が背景となり、水防法等が一部改正されるなど、住民の避難に関するソフト施策は益々重要になってきました。

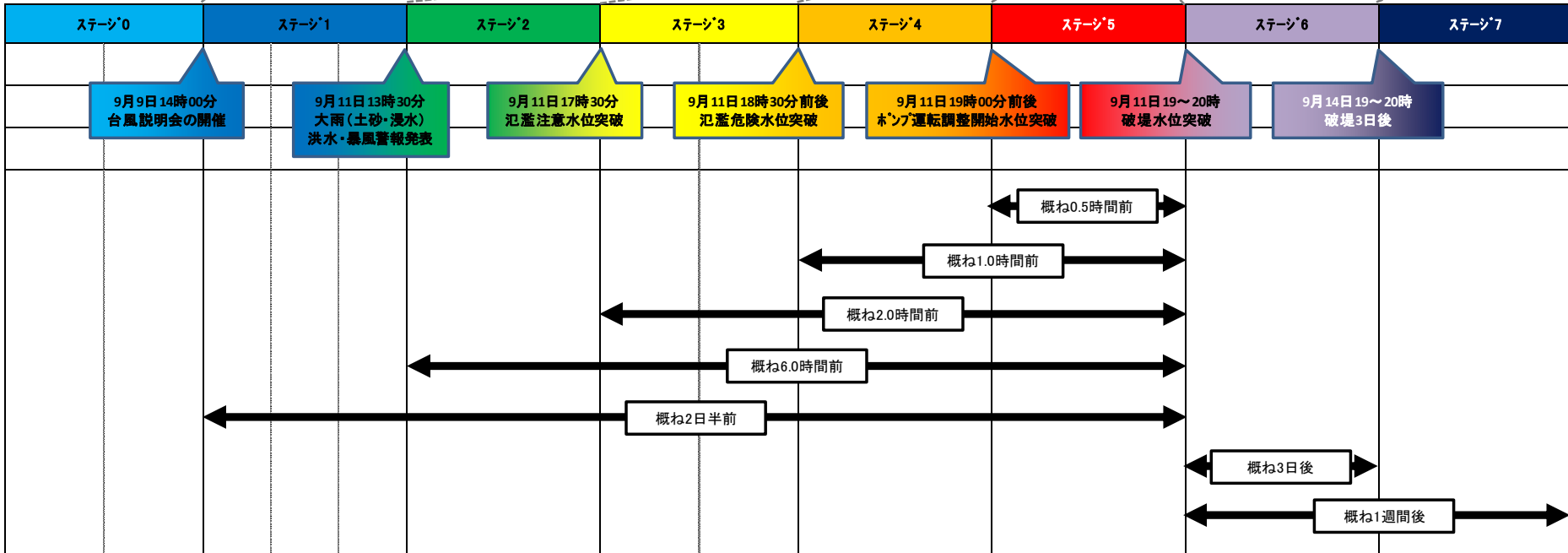
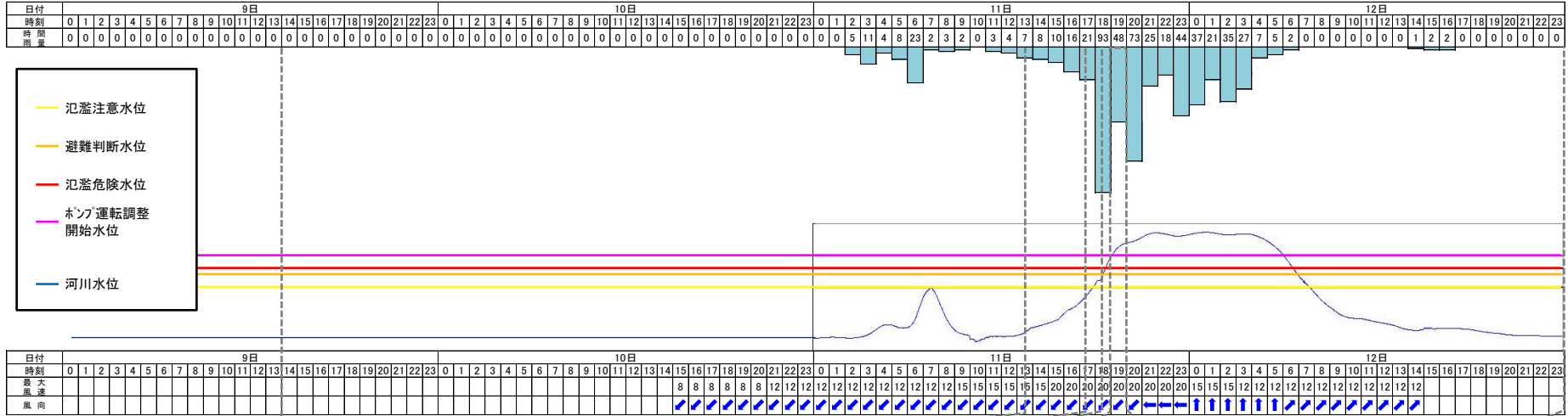
そこで、これまで積み上げてきたソフト施策を時間軸(タイムライン)に特化して整理することで、災害発生数日前から、段階に応じた早めの対応による被害のさらなる縮小を目的として寝屋川流域においてタイムラインの策定を行うこととしました。

地震などの発生予測が難しい「突発型災害」と異なり、台風等の風水害は、2~3日後の状況がかなりの精度で予測可能であることから、先を見越した対応をあらかじめとることで、被害を最小限にすることが可能と考えております。





# 寝屋川流域大規模水害タイムライン





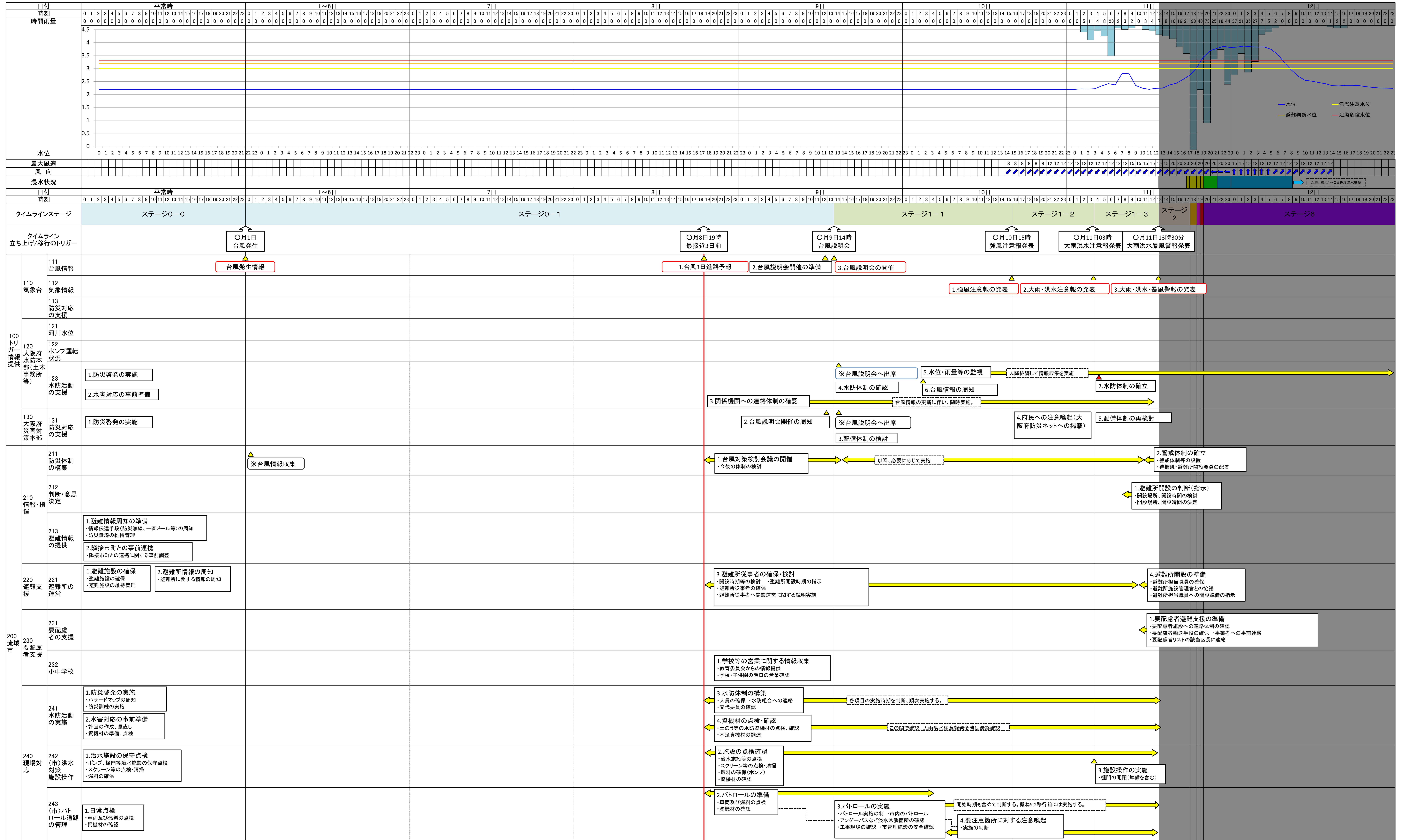
寝屋川流域大規模水害タイムライン（流域全体版） 総括表

ステージ(ST)		ST0-0	ST0-1	ST1-1	ST1-2	ST1-3	ST2	ST3-1	ST3-2	ST4	ST5	ST6	ST6	ST7			
リードタイム		日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-15h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	-0.5h~	0h~	24h~	5d~		
立ち上げ/移行トリガー			最接近3日前		台風説明会	強風注意報発表	大雨洪水注意報発表	大雨洪水暴風警報発表	氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	P調整水位到達	破堤水位到達~1日後	破堤概ね2日後~	破堤概ね5日後		
100 トリ ガー情 報提供	110 気象台	111 台風情報		1. 台風3日進路予報の発表	2. 台風説明会開催の準備	3. 台風説明会の開催											
		112 気象情報					1. 強風注意報の発表	2. 大雨・洪水注意報の発表	3. 大雨（浸水害・土砂災害）・洪水・暴風警報の発表					5. 記録的短時間大雨情報の発表	6. 大雨（土砂災害・浸水害）特別警報の発表	7. 気象警報の解除	
		113 防災対応の支援												1. ホットライン			
	120 大阪府 水防本 部（土 木事務 所等）	121 河川水位							1. 氾濫注意情報発表の準備	2. 氾濫注意情報の発表	4. 氾濫警戒情報の発表	8. 氾濫危険情報の発表	10. ホットラインの実施	11. 氾濫発生情報発表の準備	12. 氾濫発生情報の発表		
		122 ポンプ運 転状況							3. 氾濫警戒情報発表の準備	5. 土砂災害警戒情報の発表	6. ホットラインの実施	9. ホットラインの実施		4. 破堤に伴うポンプ停止の指示			
		123 水防活動 の支援	1. 防災啓発の実施 2. 水害対応の準備	3. 関係機関への連絡体制の確認		※台風説明会へ出席 4. 水防体制の確認 5. 水位・雨量等の監視	7. 水防体制の確立	8. 水防体制の拡大	9. 洪水対策施設操作の指示（水門・排水機場）				2. ポンプ運転調整実施の指示 3. ポンプ運転調整開始の伝達		10. 被災箇所の緊急措置 11. TEC-FORCE支援調整		
130 大阪府 災害対 策本部	131 防災対応 の支援	1. 防災啓発の実施		2. 台風説明会開催の周知	※台風説明会へ出席 3. 配備体制の確認	4. 府民への注意喚起（大阪府防災ネットへの掲載）	5. 配備体制の再検討	6. 体制の確立	7. 体制拡充の検討 8. 避難勧告等発令状況の注視又は市町村に助言				9. 災害対策本部設置検討 10. 救助活動の応援要請の検討				
200 流域市	210 情報・ 指揮	211 防災体制 の構築		1. 台風対策検討会議の開催				2. 警戒体制の確立				3. 災害対策本部立上げ		4. 防災体制移行の検討			
		212 判断・意 思決定						1. 避難所開設の判断（指示）	2. 自主避難呼びかけの判断 3. 避難準備・高齢者等避難開始発令の早期判断		※ホットラインの受信 4. 避難準備・高齢者等避難開始発令の判断	※ホットラインの受信 5. 避難勧告発令の判断	※ホットラインの受信 6. 避難指示（緊急）発令の判断	7. 支援要請		8. 避難勧告・指示等の解除	
		213 避難情報 の提供	1. 避難情報周知の準備 2. 隣接市との事前調整						3. 気象警報の周知 4. 自主避難の呼びかけ 5. 避難準備・高齢者等避難開始発令の早期周知			6. 避難勧告発令の周知	7. 避難指示発令の周知	8. 破堤情報の周知 9. 大雨特別警報発表の周知			
	220 避難支 援	221 避難所の 運営	1. 避難施設の確保 2. 避難所情報の周知		3. 避難所従事者の確保・検討		4. 避難所開設の準備	5. 避難所の開設・運営						6. 避難所運営の継続 7. 被災者支援の実施	8. ボランティアの受入れ	9. 被災者支援の継続 10. 避難所閉鎖	
	230 要配慮 者支援	231 要配慮者 の支援					1. 要配慮者避難支援の準備	2. 要配慮者避難支援の実施									
		232 小中学校				1. 学校等の営業に関する情報収集		2. 休校の判断・実施							3. 小中学校学校再開の検討		
	240 現場対 応	241 水防活動 の実施	1. 防災啓発の実施 2. 水害対応の準備		3. 水防体制の構築 4. 資機材の点検・確認			5. 水防体制の確立 6. 水位等の監視		7. 水防活動の実施			8. 水防活動対応者の退避	9. 被災箇所の緊急措置 10. 応急対策の実施 11. 市民からの問合せ対応		12. 水防体制の解除	
		242 洪水対策 施設操作	1. 治水施設の保守点検		2. 施設の点検・確認		3. 施設操作の実施	4. ため池の開放	5. 雨水ポンプ（流域下水施設等）の運転調整準備 6. 洪水対策施設操作の実施（水門/樋門/排水機場/鉄扉/橋梁）			7. 雨水ポンプ（流域下水施設等）運転調整		9. 施設操作終了			
		243 パトロー ル道路の 管理	1. 日常点検	2. パトロールの準備		3. パトロールの実施 4. 要注意箇所に対する注意喚起		5. パトロール範囲の拡大 6. 道路交通規制の準備 7. 道路交通規制の実施				8. パトロール・道路交通規制従事者の退避	9. パトロールの実施		10. パトロールの継続 11. 復旧工事の実施		

寝屋川流域大規模水害タイムライン（流域全体版） 総括表

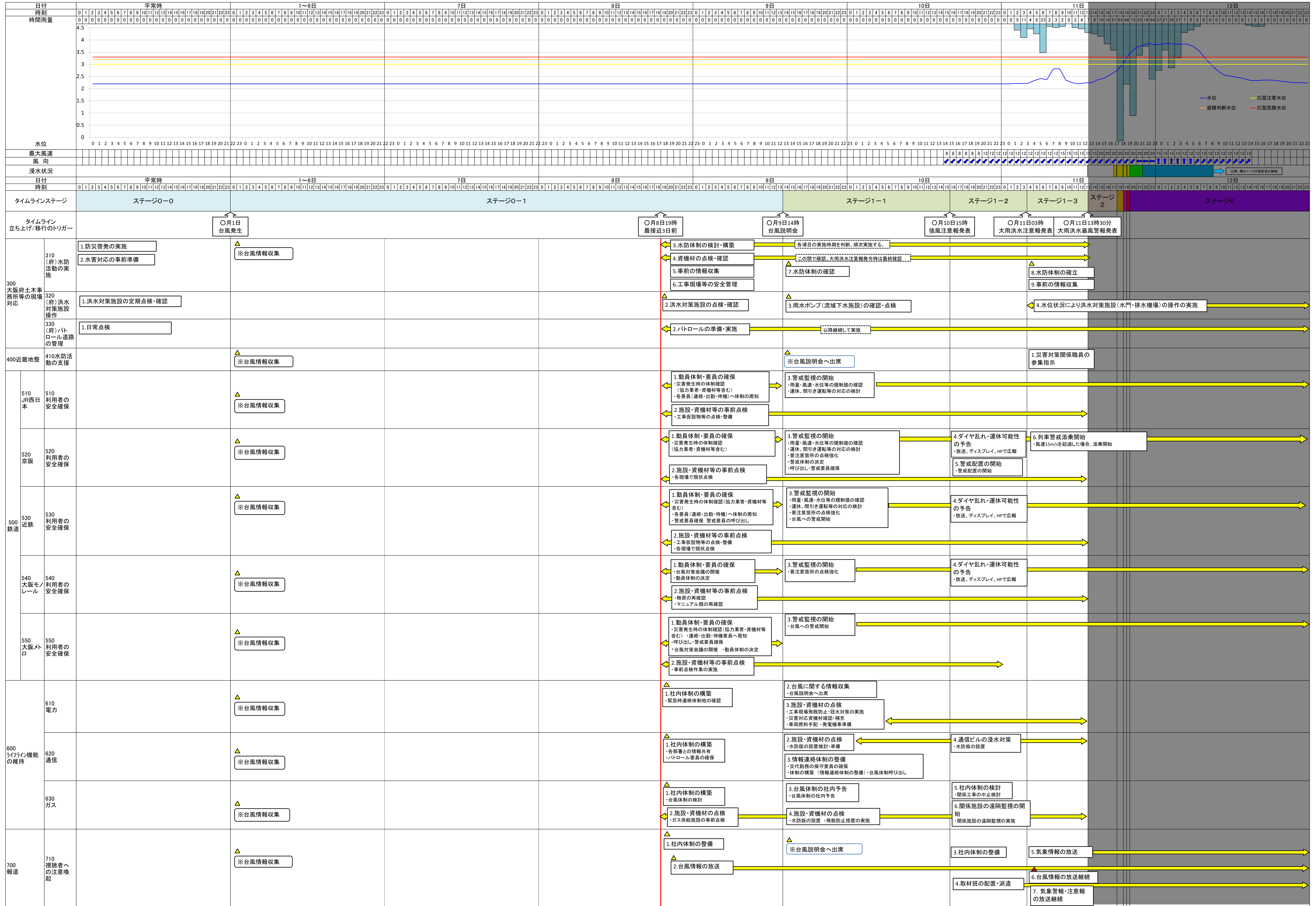
ステージ(ST)	ST0-0	ST0-1	ST1-1	ST1-2	ST1-3	ST2	ST3-1	ST3-2	ST4	ST5	ST6	ST6	ST7		
リードタイム	日常	-72h~	-48h~	-36h~	-24h~	-15h~	-6h~	-2h	-1.5h~	-1h~	-0.5h~	0h~	24h~	5d~	
立ち上げ/移行トリガー		最接近3日前		台風説明会	強風注意報発表	大雨洪水注意報発表	大雨洪水暴風警報発表	氾濫注意水位到達	避難判断水位到達	氾濫危険水位到達	P調整水位到達	破堤水位到達~1日後	破堤概ね2日後~	破堤概ね5日後	
300 大阪府土木事務所等の現場対応	310 水防活動の実施	1. 防災啓発の実施 2. 水害対応の準備	3. 水防体制の検討・構築 4. 資機材の点検・確認・調達 5. 事前の情報収集 6. 工事現場等の安全管理		7. 水防体制の確認		8. 水防体制の確立 9. 事前の情報収集		10. 体制の拡大 11. 水位等の監視 12. 直営公園の閉鎖		13. 水防活動の実施 14. ホットラインの実施	15. ホットラインの実施	16. 水位等の監視 17. 水防活動対応者の避難 18. ホットラインの実施	19. 被災箇所の緊急措置 20. 応急対策の実施 21. 府民からの問合せ対応	22. 水防体制の解除
	320 洪水対策施設操作	1. 洪水対策施設の定期点検・確認	2. 洪水対策施設（水門・排水機場）の点検・確認		3. 雨水ポンプ（流域下水施設等）の確認・点検		4. 水位状況に応じ洪水対策施設（水門・排水機場）の操作実施	5. 水位状況に応じ洪水対策施設（水門・排水機場）の操作実施 6. 排水機場の運転準備（毛馬等）	7. 排水機場の運転（毛馬等） 8. 雨水ポンプ（流域下水施設）の運転調整準備	9. 雨水ポンプ（流域下水施設）運転調整に向けた体制増員		10. 雨水ポンプ（流域下水施設）の運転調整	11. 雨水ポンプ（流域下水施設）運転全台停止操作		
	330 パトロール道路の管理	1. 日常点検	2. パトロールの準備・実施					3. パトロール範囲の拡大 4. 道路交通規制の準備 5. 累積雨量等により道路交通規制の実施 6. パトロール・道路交通規制従事者の避難						7. パトロールの実施	8. 復旧工事
400近畿地整	410水防活動の支援			※台風説明会へ出席		1. 災害対策関係職員の参集指示	2. 体制要員の確保 3. リエゾン派遣の実施 4. 毛馬排水機場の運転準備	5. 毛馬排水機場の運転		6. 本省へ氾濫危険水位到達の報告	7. 本省へポンプ運転調整開始の報告	8. 本省へ被害（氾濫）発生連絡 9. TEC-FORCE支援調整			
500 鉄道利用者の安全確保	510 JR西日本		1. 動員体制・要員の確保 2. 施設・資機材等の事前点検		3. 警戒監視の開始		4. 警戒配置の開始 5. 施設指令への応援	6. 安全対策措置の実施		7. 鉄道の徐行・運行停止 8. 浸水対策の実施		9. 運行再開に向けた運行計画検討	10. 運行再開のための巡回・点検 11. 被災箇所の応急復旧		
	520 京阪		1. 動員体制・要員の確保 2. 施設・資機材等の事前点検		3. 警戒監視の開始	4. ダイヤ乱れ・運休可能性の予告 5. 警戒配置の開始	6. 列車警戒添乗開始	7. 運転規制の開始 8. 安全対策措置の実施	9. 浸水対策の準備 10. 鉄道の徐行・運行停止 11. 対策本部の設置		12. 浸水対策の実施 13. 営業停止の準備		15. 運行再開のための巡回・点検 16. 被災箇所の応急復旧		
	530 近鉄		1. 動員体制・要員の確保 2. 施設・資機材等の事前点検		3. 警戒監視の開始	4. ダイヤ乱れ・運休可能性の予告		5. 警戒配置の開始	6. 安全対策措置の実施		7. 鉄道の徐行・運行停止 8. 浸水対策の実施 9. お客様避難誘導	10. 鉄道運行従事者の退避	11. 運行再開のための巡回・点検 12. 運行再開に向けた運行計画検討	13. 被災箇所の応急復旧	
	540 大阪モノレール		1. 動員体制・要員の確保 2. 施設・資機材等の事前点検		3. 警戒監視の開始	4. ダイヤ乱れ・運休可能性の予告		5. 防災体制要員の参集指示 6. 対策本部の設置 7. 運転規制の開始	8. 安全対策措置の実施		9. 浸水対策の実施 10. お客様避難誘導		11. 運行再開のための巡回・点検		
	550 大阪メトロ		1. 動員体制・要員の確保 2. 施設・資機材等の事前点検		3. 警戒監視の開始					4. 防災体制要員の参集指示 5. 災害対策本部の設置 6. 安全対策措置の実施 7. ダイヤ乱れ・運休可能性の予告 8. お客様避難誘導（要配慮者）	9. 浸水対策の実施 10. 鉄道の徐行・運行停止	11. お客様避難誘導（全員） 12. 止水対策の実施 13. 鉄道運行従事者の退避		14. 運行再開のための巡回・点検 15. 運行再開に向けた運行計画検討 16. 被災箇所の応急復旧	
600 ライフライン機能の維持	610 電力		1. 社内体制の構築		2. 台風に関する情報収集 3. 施設・資機材の点検		4. 災害対策組織の立ち上げと対応の開始 5. 作業・勤務従事者の中止検討		7. リエゾン派遣の開始	8. 停電情報・復旧見込みの公開開始 9. 災害情報の収集		10. 施設等の現場確認の実施 11. 修繕・復旧対応の実施		12. 施設等の現場確認の実施 13. 修繕・復旧対応の実施	
	620 通信		1. 社内体制の構築		2. 施設・資機材の点検 3. 情報連絡体制の整備	4. 通信ビルの浸水対策	5. 作業・勤務従事者の中止検討 6. リエゾン派遣の検討		7. リエゾン派遣の開始	8. 相互支援の開始 9. 応急対応の実施	10. 被害情報の収集・周知	11. 応急対応の実施		12. 応急対応の実施 13. 施設等の現場確認の実施 14. 修繕・復旧対応の実施	
	630 ガス		1. 社内体制の構築 2. 施設・資機材の点検		3. 台風体制の社内予告 4. 施設・資機材の点検	5. 社内体制の検討 6. 関係施設の遠隔監視の開始	7. 施設監視体制の確立 8. 作業・勤務従事者の中止検討 9. リエゾン派遣の検討		10. リエゾン派遣の開始	11. 災害情報の収集	12. 異常発生に対する対応	13. 施設の現場確認の実施 14. 修繕対応の実施		15. 応急対応の実施	
700 報道	710 視聴者への注意喚起		1. 社内体制の整備 2. 台風情報の放送	※台風説明会へ出席	3. 社内体制の整備 4. 取材班の配置・派遣	5. 気象情報の放送 6. 台風情報の放送継続 7. 気象警報・注意報の放送継続		8. 避難情報の放送	9. 交通情報の放送		10. 緊急情報の放送 11. 被害情報の放送		12. 被害情報の放送		

# 寝屋川流域大規模水害タイムライン(流域全体版)総括図(St0~1)

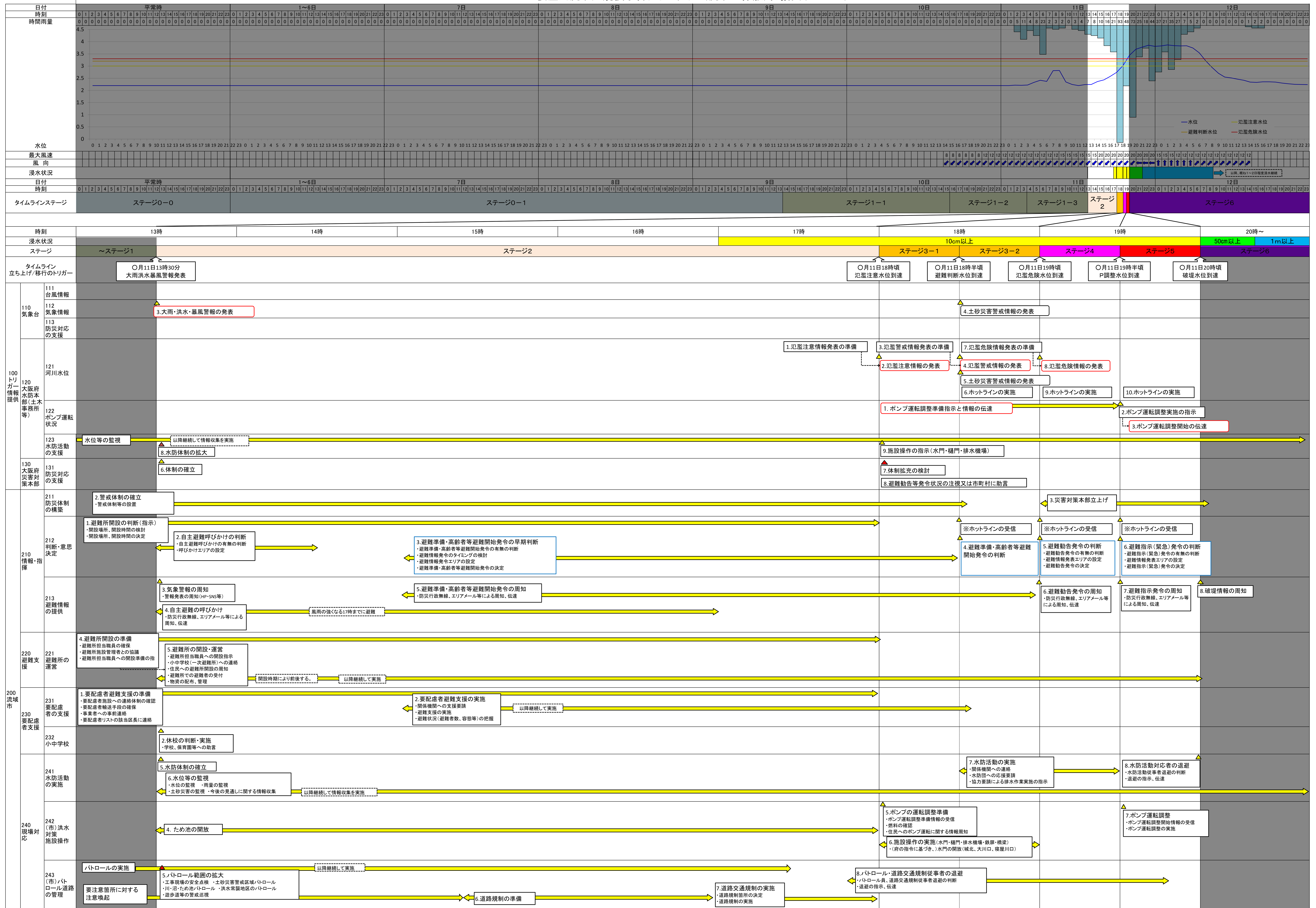




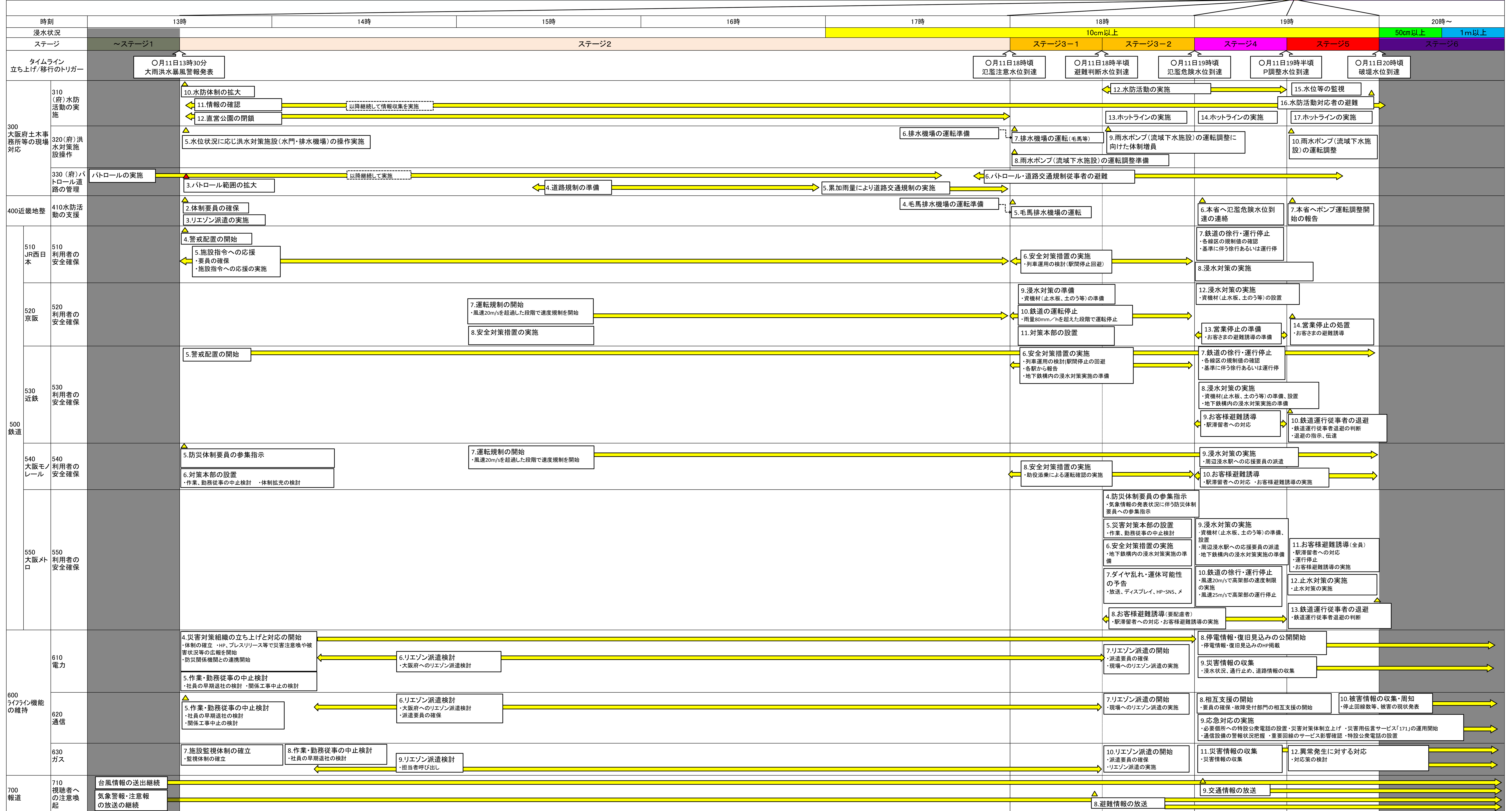
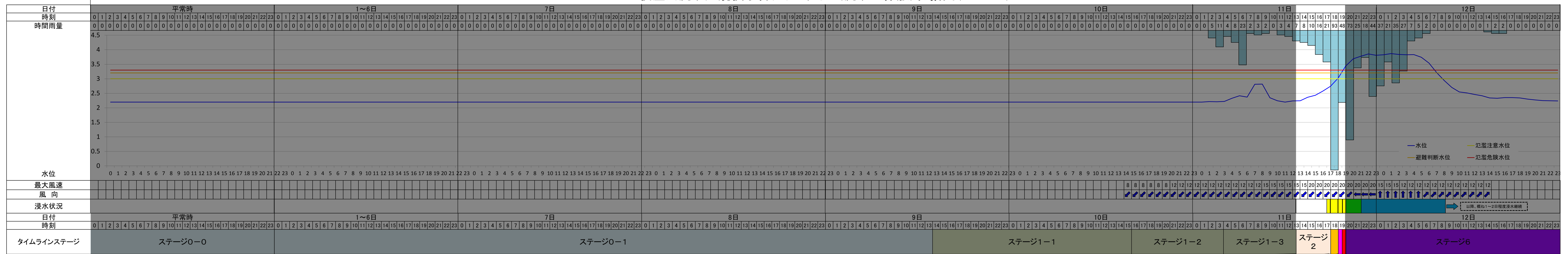
# 寝屋川流域大規模水害タイムライン(流域全体版)総括図(St0~1)



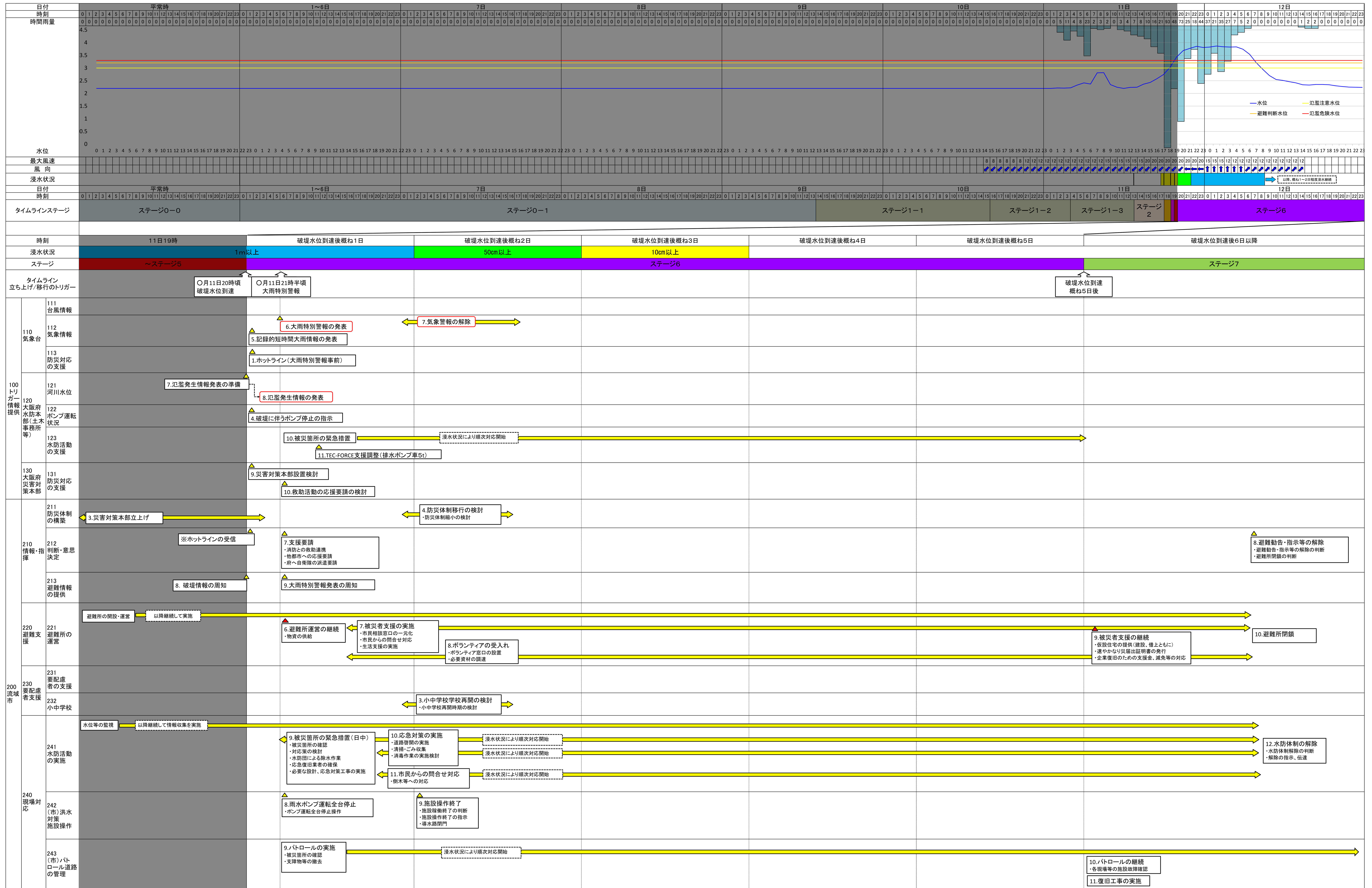
# 寝屋川流域大規模水害タイムライン(流域全体版)総括図(St2~5)



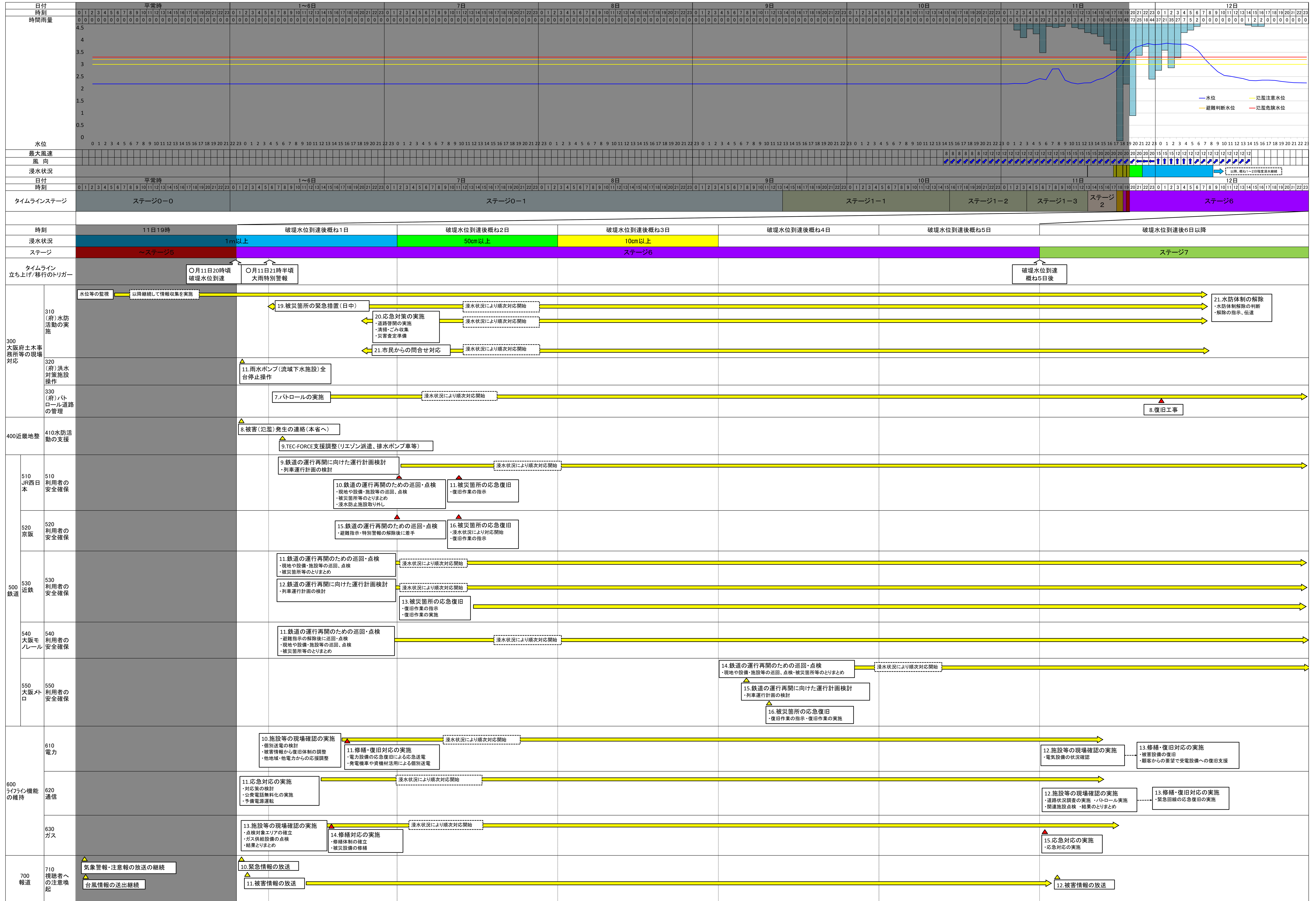
# 寝屋川流域大規模水害タイムライン(流域全体版)総括図(St2~5)



# 寝屋川流域大規模水害タイムライン(流域全体版)総括図(St6~7)



寝屋川流域大規模水害タイムライン(流域全体版)総括図(St6~7)























寝屋川流域大規模水害タイムライン(流域全体版) 詳細表

TL ステージ (時間の目安)	情報・状況	項目細目				役割分担																						
		行動目標	項目 No.	行動項目	細目 No.	行動細目	大阪府		流域市			近畿 地方 整備局	大阪 管区 気象台	鉄道				ライフライン		報道								
							土木 事務所等	水防 本部	災害 対策 本部	情報・ 指揮	避難 支援			要 配慮 者 支援	現場 対応	JR 西 日本	京 阪	近 鉄	大 阪 モ ノ レ ー ル		大 阪 メ ト ロ	電 力	通 信	ガ ス				
ST5 (-0.5h~)	ポンプ運転調整 水位到達	河川水位の提供	121-10	ホットラインの実施	374	ポンプ運転調整水位到達に伴うホットライン	◎	◎																				
		(府)洪水対策施設操作	122-2	ポンプ運転調整実施の指示	375	ポンプ運転調整実施の判断		◎																				
	ポンプ運転調整 実施	ポンプ運転状況の提供	122-3	ポンプ運転調整開始の伝達	376	ポンプ運転調整実施の指示		◎																				
					377	ポンプ運転調整開始の伝達	◎	◎		○		○																
					378	近畿地整に運転調整の開始を報告																						
		判断・意思決定	212-6	避難指示発令の判断	379	避難指示(緊急)発令の有無の判断				◎																		
					380	避難情報発表エリアの設定			◎																			
					381	避難指示(緊急)発令の決定			◎																			
		避難情報の提供	213-7	避難指示発令の周知	382	防災行政無線、エリアメール等による周知、伝達				◎																		
		(市)水防活動の実施	241-8	水防活動対応者の退避	383	水防活動従事者退避の判断							◎															
					384	退避の指示、伝達								◎														
		(市)洪水対策施設操作	242-7	雨水ポンプ(流域下水施設等)運転調整	385	ポンプ運転調整開始指示の受信							◎															
					386	ポンプ運転調整の実施								◎														
		(府)水防活動の実施	310-16	水位等の監視	387	洪水予報での水位予測		◎																				
			310-17	水防活動対応者の退避	388	水防活動従事者退避の判断		◎																				
			310-18	ホットラインの実施	389	退避の指示、伝達		◎																				
		(府)洪水対策施設操作	320-10	雨水ポンプ(流域下水施設)運転調整	390	ポンプ運転調整水位到達に伴うホットライン		◎																				
		(国)水防活動の支援	410-7	本省へポンプ運転調整開始の報告	391	ポンプ運転調整の実施		◎																				
		鉄道利用者の安全確保 (京阪)	520-14	営業停止の処置	392	ポンプ運転調整開始の報告(本省へ)							◎															
					393	排水ポンプ車準備								◎														
鉄道利用者の安全確保 (近鉄)	530-10	鉄道運行従事者の退避	394	お客さまの避難誘導																								
			395	係員の避難																								
鉄道利用者の安全確保 (大阪メトロ)	550-11	お客様避難誘導(全員)	396	鉄道運行従事者退避の判断																								
			397	退避の指示、伝達																								
			398	駅滞留者の対応																								
			399	(避難指示発令に伴う)運行停止																								
			400	(避難指示発令に伴う)お客様避難誘導の実施																								
ライフライン機能の維持(通信)	620-10	被害情報の収集・周知	401	(避難指示発令に伴う)止水対策の実施																								
			402	鉄道運行従事者退避の判断																								
			403	退避の指示、伝達																								
ライフライン機能の維持(ガス)	630-12	異常発生に対する対応	404	お客さま避難誘導、止水対策後の駅閉鎖																								
			405	社員の避難																								
			406	停止回線数等、被害の現状発表																								
			407	対応策の検討																								
			408	点検等の対応																								

氾濫が発生する水位に到達(箇所により氾濫発生)







